

第5次高松市総合計画

「新生たかまつ 人・まち 輝き ビジョン」2008-2015

—文化の風かおり 光かがやく 瀬戸の都・高松—



高松市



第5次高松市総合計画

第5次高松市総合計画

「新生たかまつ 人・まち 輝き ビジョン」2008-2015

—文化の風かおり 光かがやく 瀬戸の都・高松—



ごあいさつ

本市は、多島美を誇る波静かな瀬戸内海との深いかかわりの中で、県都として、また、四国の中枢管理都市として発展を続け、平成17年度に塩江町、牟礼町、庵治町、香川町、香南町、国分寺町と合併し、新たな歴史を刻み始めました。

私たちは、この新しく生まれ変わった高松市を、だれもが暮らしたい、訪れたい、魅力あるまちとして、次の時代に引き継いでいかなければなりません。

今日、我が国は、人口減少、少子・高齢社会の到来やグローバル化の進展、地球温暖化を始めとする地球規模の環境問題など、大きく変化する社会環境の中で、様々な課題に適切に対応することが、強く求められています。

一方、地方分権の進展により、地方自治体は、自らの判断と責任で地域の実情に応じた自主的・自立的な地域経営を行うとともに、複雑・多様化する地域課題を、様々な主体が連携し、「協働」により解決に向けて取り組むことが、分権時代にふさわしい地域自らのまちづくりを進めていく上で重要となっています。

そのためには、多様なパートナーシップを構築し、コミュニティを軸とした協働のまちづくりを進めるとともに、それぞれの地域の特徴をいかした、都市的利便性と自然的環境が享受できる都市の実現に向け、



本市にふさわしい、コンパクトで持続可能なまちづくりを進める中で、すべての市民が暮らすことに誇りの持てるまちの実現を目指す必要があります。

この度の総合計画は、市民の皆様と行政のこれからのまちづくりについての共通の指針として策定したもので、「文化の風かおり 光かがやく 瀬戸の都・高松」の実現を目指し、6つのまちづくりの目標を設定しています。

この計画に基づき、市民と行政が知恵を出し合い、創意工夫をし、一つ一つの課題の克服に取り組み、未来の子どもたちに誇れる高松市を築いていきたいと考えています。

最後に、本計画の策定に当たりまして、精力的かつ真摯な御審議を賜りました総合計画審議会委員の皆様を始め、高松まちづくり100人委員会や高松・まちづくりふれあいトーク～市民と市長の対話集会～、パブリック・コメントなどを通じて、貴重な御意見、御提言をいただきました多くの市民の皆様に、心から感謝申し上げます。

平成20年2月

高松市長 大西 秀人

目 次

序 論

- | | | |
|---|--------------|----|
| 1 | 総合計画策定の目的 | 1 |
| 2 | 総合計画の名称 | 1 |
| 3 | 総合計画の構成 | 2 |
| 4 | 総合計画の期間 | 3 |
| 5 | 総合計画の対象区域 | 3 |
| 6 | 時代の潮流 | 5 |
| 7 | 現況と特性 | 7 |
| 8 | まちづくりの基本的考え方 | 16 |

基本構想

- | | | |
|---|----------|----|
| 1 | 目指すべき都市像 | 19 |
| 2 | 目標年次 | 19 |
| 3 | まちづくりの目標 | 20 |
| 4 | 施策の大綱 | 21 |
| 5 | 主要指標 | 49 |
| 6 | 土地利用構想 | 52 |
| 7 | 地域別まちづくり | 53 |
| 8 | 総合計画の推進 | 53 |

地域別 まちづくり

- 1 地域区分の目的と考え方 57
- 2 地域別まちづくりの考え方 59

総合計画 の推進

- 1 総合計画の推進 69

付属資料

- ・ 第5次高松市総合計画策定経過 79
- ・ 高松市新総合計画（仮称）基本構想案について（諮問） 81
- ・ 高松市新総合計画（仮称）基本構想案について（答申） 81
- ・ 高松市総合計画審議会委員名簿 87
- ・ 高松まちづくり100人委員会からの提言（抜粋） 88
- ・ 高松まちづくり100人委員会名簿 99
- ・ 用語解説 101

● 本文中の※印のある用語については101ページからの「用語解説」に説明を記述しています。

